

2014.10.7

世界ハビタット・デー2014

福岡国際 フォーラム

声なき声のニーズを掴む仕組みづくりを考える

～大分市郊外部・過疎地域における「ふれあい交通」の取組み
と英国の公共交通政策から～

福岡地域戦略推進協議会（FDC）

ディレクター 石丸 修平

そもそも声なき声とは？

「声なき声」を聴くのは難しい

なぜならば 例えば、バス路線が廃止される場合

①声をあげる場・機会がない

例) 誰に、いつ、どこで、何を訴えれば良いかわからない

②声の大きな人の意見にかき消されがち

例) 私は日頃バスを使わないが、廃止はバス会社や行政の怠慢だ！
(マイカー利用者がバスを利用しないことが廃止原因の一つ)

③そもそもどこにいるかわからない

例) 把握するためには、バス利用者の特定や全住民の聞き取り調査が必要
マイカー利用者でも足を骨折すれば、バスが無くなると困る

声なき声を聴く～大分市「ふれあい交通」の取組みから

■ 取り組み内容

- ・ 郊外部、過疎地域にある交通不便地域（バス停から1.5km以上の地域）の改善を図る（特に少数の利用者意見を聴く仕組みづくりに注目！）

■ 改善を図った公共交通サービス

- ・ 郊外部・過疎地域から大分都心部まで運行する幹線系統バスが停まるバス停まで「予約型乗合タクシー」※を運行
※7地区16ルート、ダイヤ週6便（各路線週1～3日、1日1～2往復相当）



最寄りのバス停から
1.5 km以上離れている地域

乗合タクシーを運行



大分都心部までの幹線系統
が運行するバス停
(70歳以上市内バス100円)

声なき声を聴く～大分市「ふれあい交通」の取組みから

① 実際の利用者ニーズを把握、運行計画に反映する仕組みづくり

- ・ アンケートや説明会では<日頃タクシーを利用しない人>の意見が優勢になるので、利用者を中心とした「地域検討会」を開催し、そこで運行の改善方法を検討（24年度：16ヶ所、132名参加）

② 地域住民に運行条件を明示、自助・共助・公助の必要性を訴求

- ・ 「地域検討会」で決めた運行計画を説明する「運行説明会」を沿線の全住民を対象に開催（24年度：32ヶ所、455名参加）
- ・ 「行きの便の予約2名以上」、「稼働率が3ヶ月連続して30%以下の場合、路線を休止」といった地域住民に運行目標を明示
- ・ 利用者が多いルート（平均9名超）は週6→9に増便可能

③ アンケートを工夫、ニーズを正確に把握

- ・ 「必要か or 不必要か」と尋ねるのではなく、「毎日の行動について尋ねる」質問から、需要にどの程度まで対応すべきかを判断



声なき声を聴く～英国の交通政策から

■ 取り組み内容

- ・ **地方自治体に権限移譲、地域の実情に合わせた「地方総合交通計画」策定**
2000年交通法で地方自治体に権限を大幅移譲、地域の実状に合わせた「地方総合公共交通計画」の策定と、更には職場駐車場への課金や地元企業の寄付金等多様な財源確保や運行形態を承認
- ・ **統合的な交通システム導入の推進**
異なったタイプの交通手段の連携、環境や土地利用計画との連携、教育や健康等関連政策との連携を推進

地方総合交通計画における評価指標の例

分野	評価指標(例)
①雇用機会へのアクセシビリティ(接近容易性)	労働年齢人口のうち、雇用の場まで公共交通で20分以内と40分以内の者の割合を●%に
②医療へのアクセシビリティ	全世帯のうち病院まで公共交通で15分以内と30分以内の世帯の割合を●%に
③教育へのアクセシビリティ	義務教育年齢の生徒のうち小学校まで公共交通で15分以内と30分以内の生徒の割合を●%に

声なき声を聴く～英国の交通政策から

■ HCTグループの取り組み

1982年に経済的に貧しく公共交通網が充分発達していないロンドンのハックニー特別区において6台でボランティアのコミュニティ輸送を始めたHCTグループは、ソーシャルエンタープライズ（社会的課題解決を目指す企業）として事業を拡大し、現在では多様な交通サービス提供並びに失業者雇用等を実現

<主な事業内容>

① 路線バス（ロンドン赤バス）スクールバスの運行

② コミュニティ輸送※の運行

※病院やスーパー等の巡回バスや障害者や生活困窮者に対する低価格のタクシーサービス、赤字事業だが路線バスの利益を補填して運営

③ 長期失業者を対象としたバス運転士の育成

<主な成果>

事業収入66.7億円、雇用者791名、長期失業者のバス運転士育成483名
同グループの交通機関利用で車での移動者を46,140人分減（2012年度）



developing our communities



結論 声なき声を聴くために必要なこと

①当事者を事業計画・運営に巻き込む仕組みづくり

- 大分市 : ふれあい交通（乗合タクシー）の利用者、公共交通が必要な人に直接意見を聴く「地域検討会」設置、アンケートの工夫
HCTグループ : 長期失業者を対象としたバス運転士の育成

②声なき声を聴く、ニーズ実現のための政策の策定

- 大分市 : 70歳以上市内バス100円に連動する施策として、「ふれあい交通事業」（乗合タクシー事業）の見直しを実施
沿線の全住民を対象「運行説明会」開催
英国 : 地方に権限移譲された「地方総合公共交通計画」の策定

③声なき声のニーズを実現するための財源確保

- 英国 : 地域交通維持のために職場駐車場への課金や地元企業の寄付金など多様な財源確保を承認
HCTグループ : 乗合バスの黒字で経済的に貧しい地域で運行するコミュニティ輸送の赤字を補てん